

藤岡小学校便り わらたけ

いきいき すくすく 元気な わらびっ子 No. 25

2025年2月7日(金)
四万十市立藤岡小学校
校長室から(文責清家)

【堂々とした態度！！すばらしかったです】

1月31日しまんと子ども発表会

今年度の藤岡小の代表は1・2年生でした。大勢の観客の前で発表をするのは緊張したことでしょう。「緊張しなかったよ」と言っていた2年生もいましたが(^-)-☆)

でも、この発表をとおして、たくさんの力がついたと思います。

まずは、成功体験を積むことによって「やればできる」という自己肯定感につながることです。一人ひとりの活躍場面が多い藤岡小ならではの特権ですね。大勢の前で話す経験を積むことで、自己表現に自信も持てるようになっていきます。

また、「相手に伝わるように話す」ことを意識することで、表情・声の大きさ・視線の配り方などを工夫するようになります。「聞き手を意識した発表」は普段の授業の中でも藤岡小が目指しているところです。

さらに、他の学校の発表を見ることで学びも深まったようです。「来年もやりたい。」「他の学校は声をそろえて言うところがあったけん、そんな風になりたい。」などの感想も聞かせてくれました。

【冬の楽しみ】

最強寒波到来！！大人たちは、火曜日から降り続く雪にドキドキしながら車の運転をしてきていると思いますが、子どもたちは雪遊びに夢中です。黙々と大きな雪だるまを作る子ども。友だちを追いかけて雪玉を投げてはしゃぐ子ども。雪の感触や音を楽しみながら、冬ならではの自然の変化を感じたことでしょうか。子どもたちが全身全力で遊んだ後には、玄関に置かれたストーブの前に、びしょ濡れになった手袋が並んで干されていました。

※明日はまた、大雪の予報が出ています。交通には十分お気を付けください。



【川柳にふれる】

蕨岡小では毎年3学期に講師の先生をお招きして、高学年の子どもたちが「川柳」を学んでいます。今年も伊与田先生、遠近先生が来てくださいました。川柳は俳句と似ていますが、季語を使わなくてよいので、日常の出来事や感情を自由に表現できる良さがありますね。さて、どんな作品ができたでしょうか。



【心の鬼を追い出そう】

2月2日は節分でした。次の日の生活朝会で豆まきについて子どもたちに話したことです。豆まきは単なる遊びではなく、日本の伝統的な行事です。厄払いの対象となる鬼を追い払うことで、災いを追い出し、幸運を呼び込むと考えられてきました。

実は、去年までは蕨岡小にも(前石川校長先生扮する)鬼が現れていたようで、子どもたちは鬼が現れるのを期待していたようで申し訳なかったですが、私は「鬼は自分の心の中にいます。」と言いました。めんどくさくなって努力をしない「なまけの鬼」、友だちに優しくできない「いじわるな鬼」など、心の中の鬼を追い出すことで、より良い自分になりたいですね。

そして、2月4日は新しい春、立春でした。今年度もあと1か月半です。「学校へ来ることが楽しい」と思える蕨岡小学校をみんなでつくっていきたいです。

【来たる2月18日は なわとび大会】

朝運動の時間に長縄跳びの練習をしています。「8の字跳び」では、最初は縄に入るタイミングが分からず戸惑っていた1年生も上級生の力を借りて、徐々に跳べるようになってきました。2つのグループに分かれてみんなで一斉に跳ぶ「一斉跳び」では、全員の心を一つにしなければなりません。声を掛け合ったり、息を合わせたりすることをおして、協調性やチームワークが生まれます。うまくいったときの達成感や一体感を味わってほしいです。



なわとび大会には、蕨岡保育所の年長さんも参加してくれます。保護者や地域の皆様、お時間ある方はどうぞ応援に来てくださいね。

- 1 日時 2月18日(火)9:25~10:10
- 2 場所 蕨岡小 体育館
- 3 内容 ①持久走跳び ②得意技披露 ③年長さん技披露 ④一斉跳び&8の字跳び